

個人投資家向け会社説明会

GMOクリックホールディングス

STOCK CODE : 7177

2016年5月28日

1. 企業グループ概要
2. ビジネスモデル
3. 当社グループの強み
4. 今後の展望と概況
5. 株主還元

■ 企業概要

商号	: G M Oクリックホールディングス株式会社
設立	: 2012年1月
連結子会社数	: 5社（国内2社・海外3社）
連結従業員数	: 218名（2016年3月末日時点）
グループ事業概要	: インターネット証券事業、FX事業

■ 事業拠点・提供サービス

GMO-Z.com Trade UK Ltd. FX・CFD etc.

ロンドン

東京

GMOクリック証券 株式・FX・CFD etc.
FXプライム by GMO FX etc.

香港

GMO-Z.com Forex HK Ltd. FX

GMO-Z.com Bullion HK Ltd. CFD

たかしま ひでゆき
高島 秀行

GMOクリックホールディングス株式会社
代表執行役会長



- 1993年 新日本証券（現みずほ証券）入社
- 1998年 イマージュ（現インフォテック）入社
- 1999年 ファイテック研究所（現キーポート・ソリューションズ）入社
- 2002年 アクセンチュア入社
- 2004年 ライブドア（現NHNテコラス）入社
ライブドア証券（現内藤証券）出向
- 2005年 GMOインターネット入社
- 2005年 GMOインターネット証券（現GMOクリック証券）代表取締役社長
- 2012年 当社取締役兼代表執行役社長
- 2014年 当社取締役兼代表執行役会長およびGMOクリック証券代表取締役会長

きとう ひろやす
鬼頭 弘泰

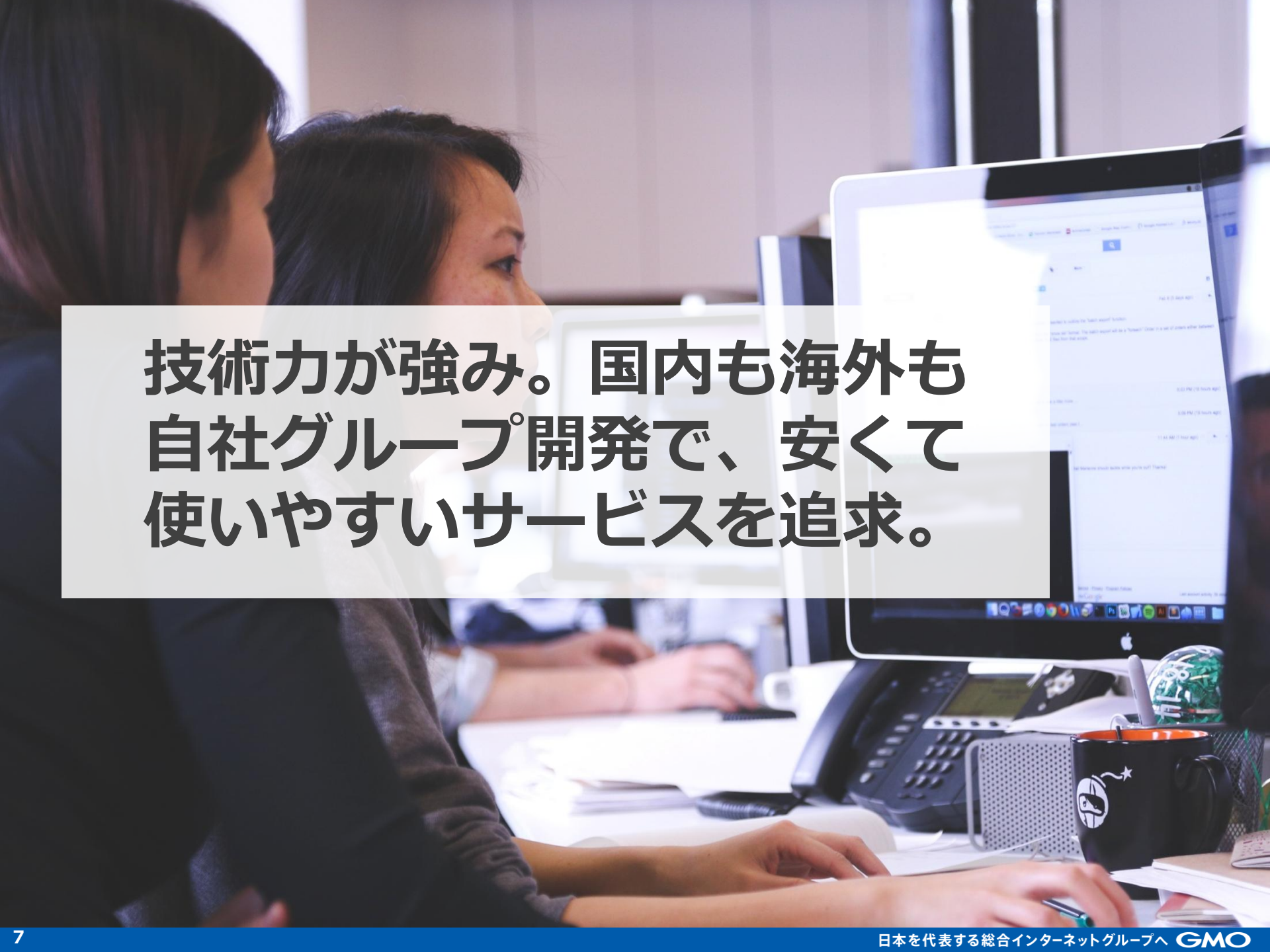
**GMOクリックホールディングス株式会社
代表執行役社長**

- 1992年 三和銀行（現三菱東京UFJ銀行） 入行
- 2003年 モビット出向
- 2005年 ライブドア（現NHNテコラス） 入社
- 2005年 エキサイト入社
- 2008年 クリック証券（現GMOクリック証券） 入社
- 2008年 フォレックス・トレード代表取締役社長
- 2012年 GMOクリック証券 経営企画部長兼マーケティング室長
- 2012年 FXプライム（現FXプライム byGMO） 代表取締役社長
- 2014年 当社取締役兼代表執行役社長およびGMOクリック証券代表取締役社長









“金融サービスを もっとリーズナブルに もっと楽しく自由に”

既存の概念に囚われず、仕組みを変えることで、
お客様にとって本当に価値のある
金融サービスを提供し続ける。

A photograph of two women in an office setting, looking at a computer monitor. The monitor displays a web application with a search bar and a list of items. The women are in the foreground, and the monitor is in the background. The text is overlaid on a semi-transparent white box in the center of the image.

**技術力が強み。国内も海外も
自社グループ開発で、安くて
使いやすいサービスを追求。**

当社グループは、大きく分けると、 取引所取引サービスと店頭取引サービスを提供

	取引所取引	店頭取引
概要	取引所を介して 行われる取引	投資家と証券会社等 との相対取引
主な商品	  	  
収益源	手数料・金利*	スプレッド等
PL科目	受入手数料・ 金融収益*	トレーディング損益

※金利・金融収益：株式信用取引に係る金利・収益

創業・事業拡大

2005年10月

- ✓ GMOインターネット証券
(現GMOクリック証券)
設立

2006年5月

- ✓ オンライン証券取引サービス開始

2006年10月

- ✓ FXネオ (店頭外国為替証拠金取引) サービス開始



持株会社化・成長加速へ

2010年4月

- ✓ CFD取引サービス開始

2012年1月

- ✓ GMOクリックHD設立
(持株会社化)

2012年8月

- ✓ 香港子会社で
FXサービス提供開始

2012年9月

- ✓ FXプライム (現FXプライム
byGMO) を連結子会社化

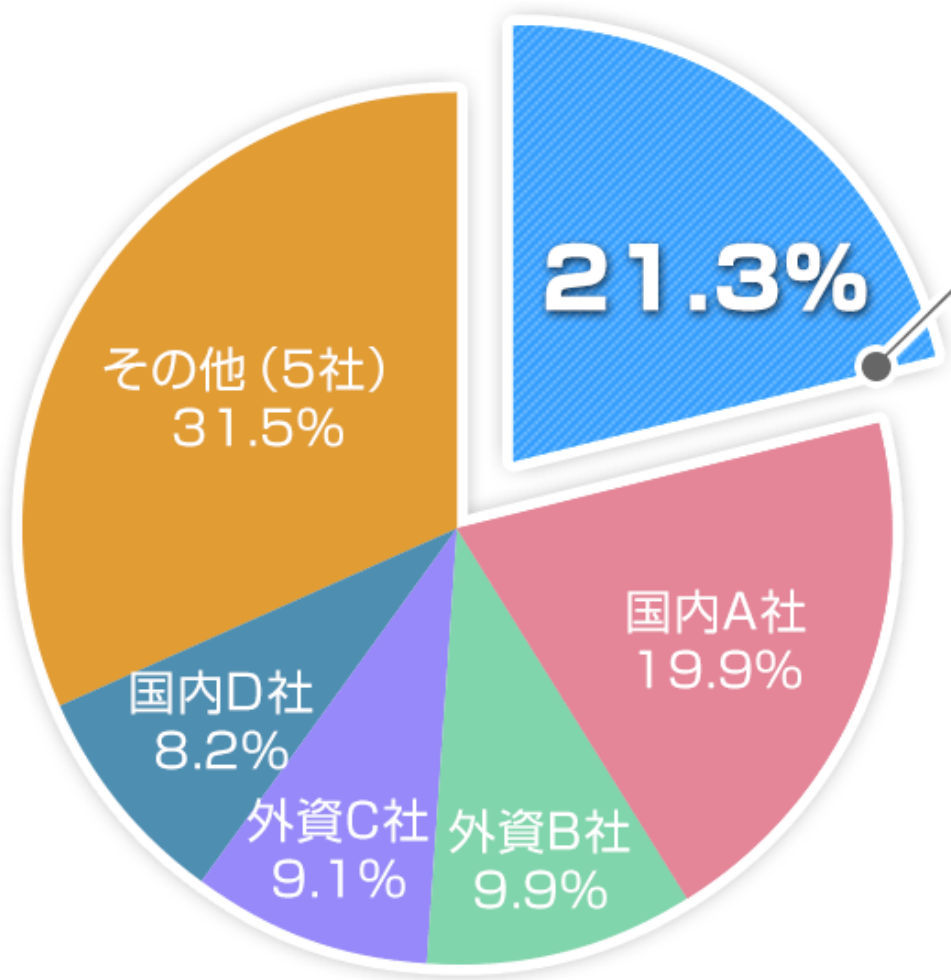
2015年3月

- ✓ 英国子会社で
FX・CFDサービス提供開始

2015年4月

- ✓ GMOクリックHD上場
(東証JSQスタンダード)

2005 2006 2007 2008 2009 **2010** 2011 **2012** 2013 2014 **2015**



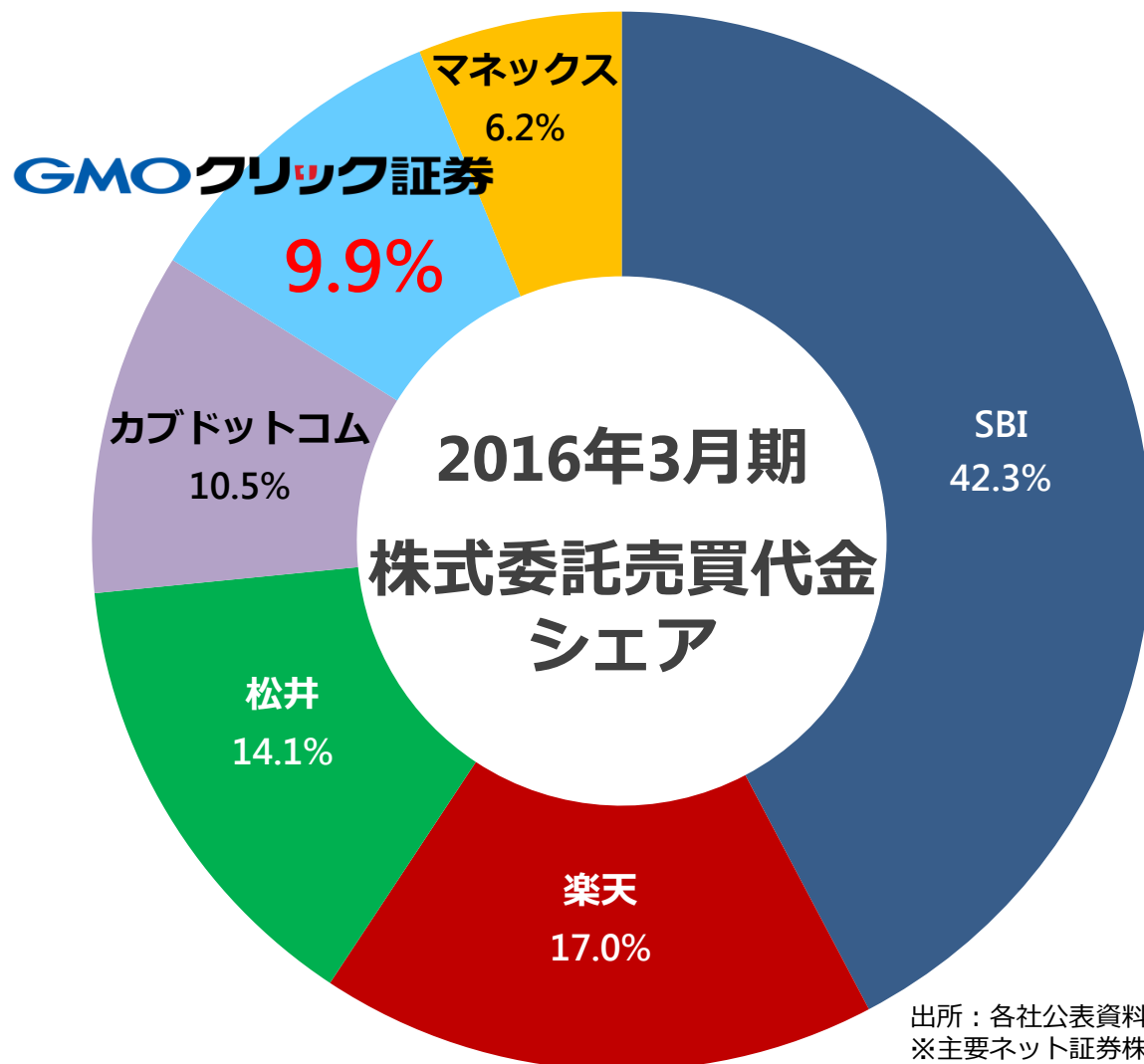
GMOクリック証券

4年連続

2015年 年間FX取引高 世界第1位!

※出所：Finance Magnates「2015年年間取引高調査報告書」年間（2015年1～12月）FX取引高（売買代金/ドル換算）1位。
上記の図は、報告書に基づく世界上位10社のシェアで、GMOクリック証券にて作成

主要ネット証券における株式委託売買代金シェアは**第5位**

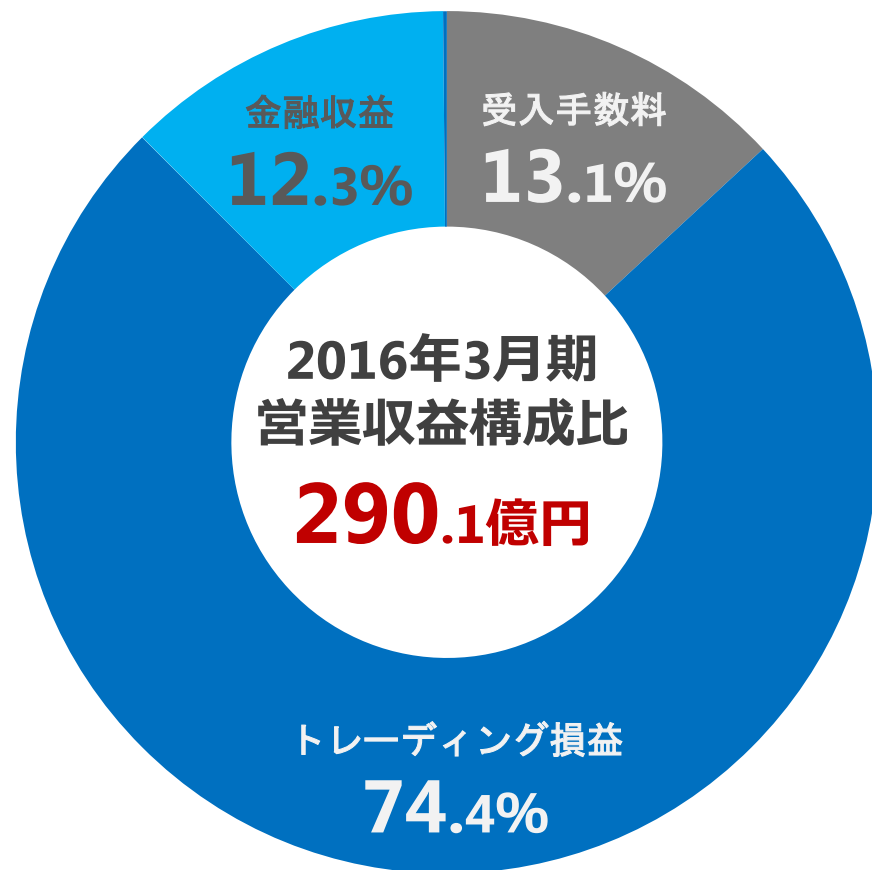


出所：各社公表資料より当社作成

※主要ネット証券株式委託売買代金シェア：GMOクリック証券、SBI、楽天、松井、マネックス、カブドットコムの6社を全体とした場合の各社シェア

1. 企業グループ概要
2. ビジネスモデル
3. 当社グループの強み
4. 今後の展望と概況
5. 株主還元

店頭FX等の店頭デリバティブ取引が収益を牽引



金融収益**35.8億円**

- 信用取引等から得られる収益

受入手数料**37.9億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

トレーディング損益**215.9億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

そもそもFXとはどのような金融商品でしょうか？
ビデオをご覧ください。

外国通貨を売買することによって差益を狙う商品

FXの魅力・特長

1. 少ない資金でも取引ができること
2. 円高も円安も利益のチャンス
3. スワップ金利を受け取れる
4. 投資家が取引しやすい環境の整備



※スワップ金利は、ニューヨーククローズ（1日の取引終了時間）をまたいで建玉を保有すると発生
取引の仕方によって、スワップ金利は受け取ることも、支払うこともあります

当社グループはFXディーリング業務を システムにより完全自動化

他社



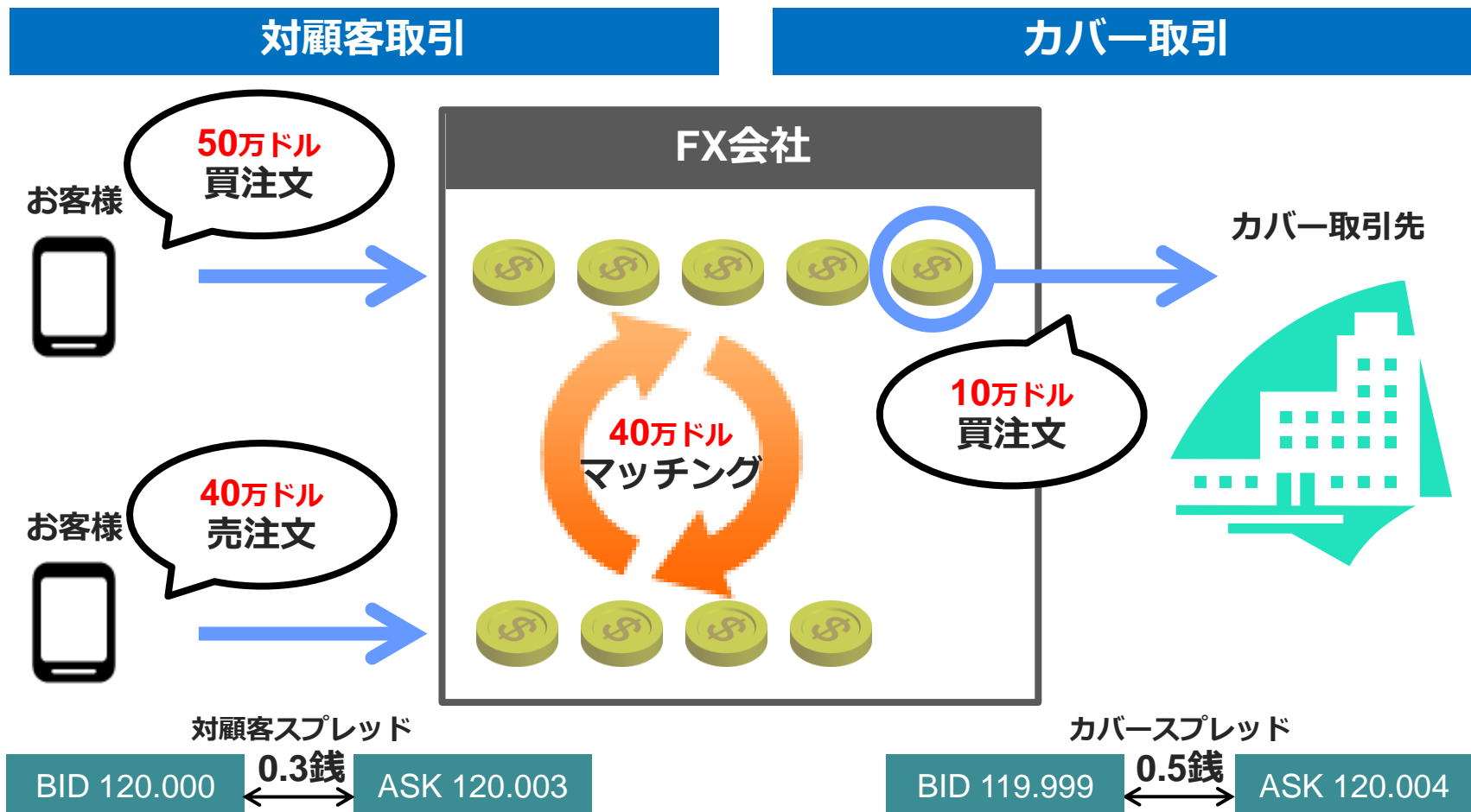
ディーラーによるトレード

当社グループ



システムによる自動化

マッチングされた取引からの収益と カバー取引にかかるコストのバランスで収益が決まる



(上記はイメージ図)

細かなチューニングによりカバー取引を最適化

カバー先金融機関

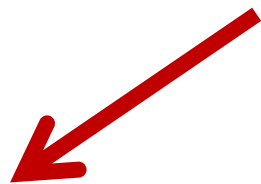
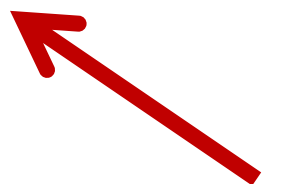
A社



B社



C社



その瞬間における
最適カバー先へカバー

当社グループ



最適
カバー先
判定

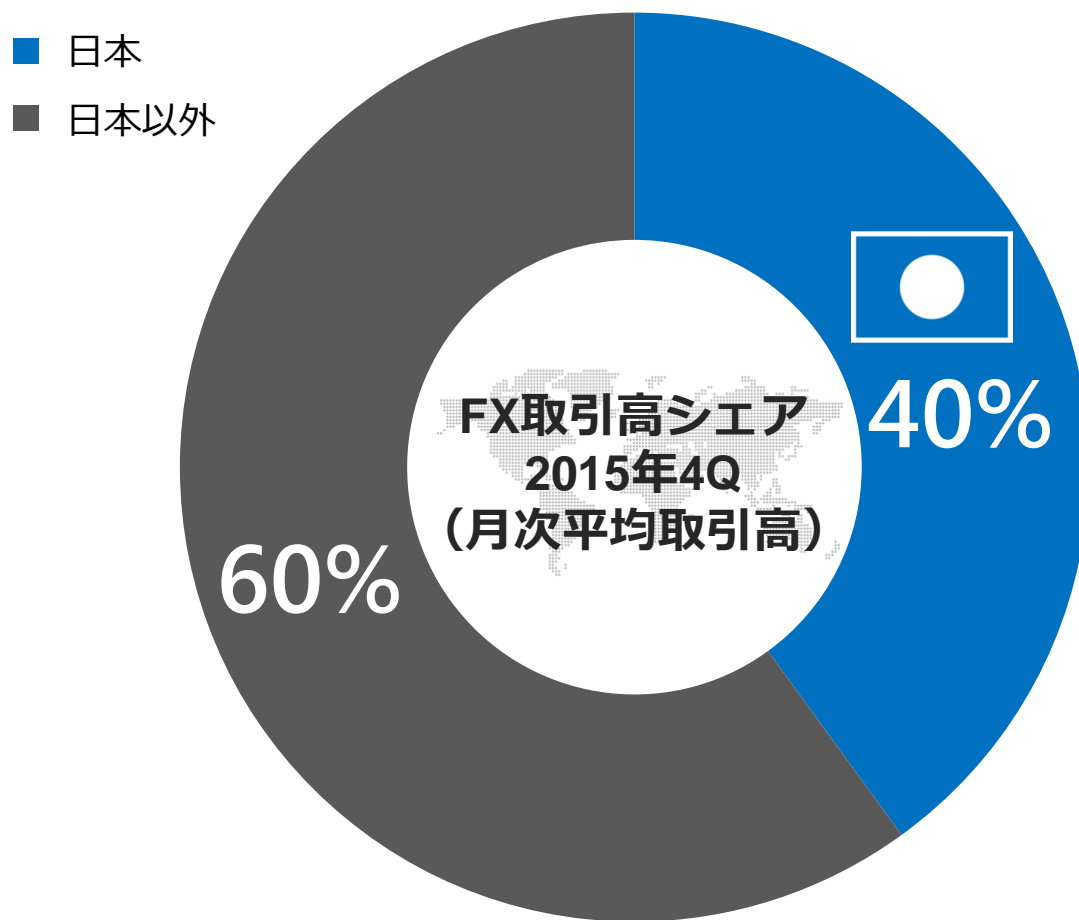
A社特徴...

B社特徴...

C社特徴...

(上記はイメージ図)

世界FX市場における日本の取引高シェアは40%と 世界で一番大きなマーケット

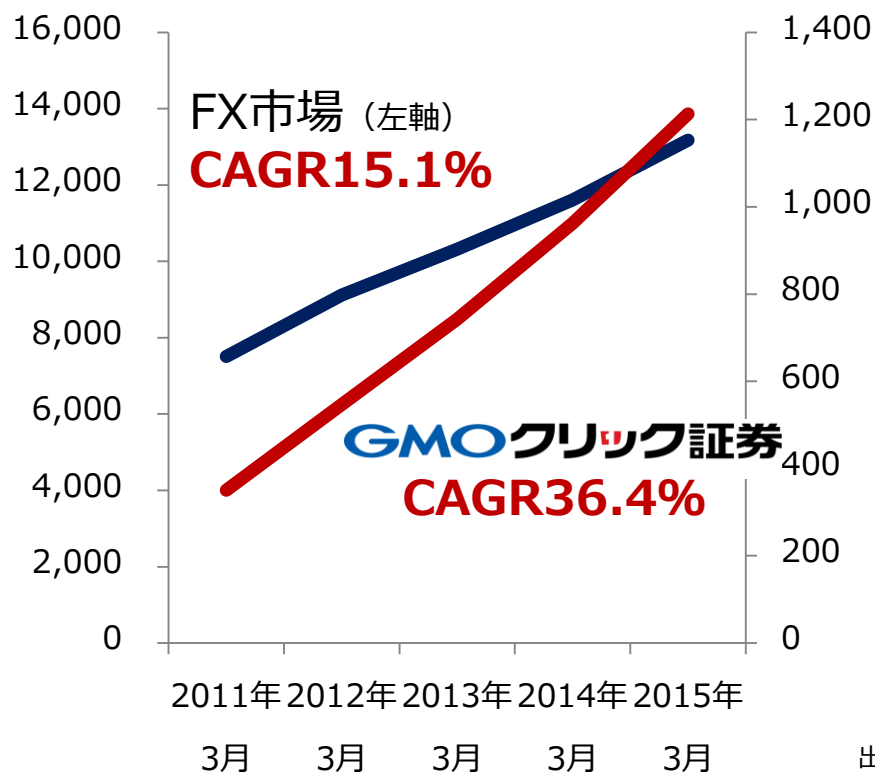


出所：Finance Magnates「Q4 Report 2015」より当社作成

国内店頭FXは成長マーケット GMOクリック証券は市場を上回るスピードで成長

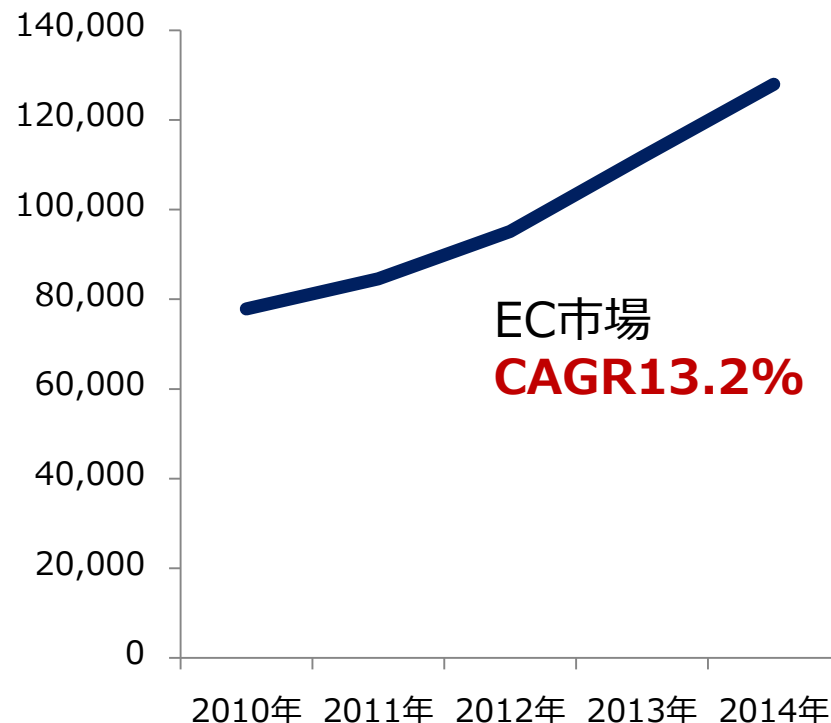
国内店頭FXマーケット

店頭FX預り証拠金残高の推移（億円）



国内ECマーケット

BtoC-EC市場規模の推移（億円）



出所：矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果2015」経済産業省「平成26年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」を元に当社作成

※店頭FX預り証拠金残高は各年3月末の数値。EC市場は各年1月～12月の数値

国内FX会社比較

会社名	取引高 (単位：百万通貨)	預り残高 (単位：百万円)	口座数 (単位：口座)
GMOクリック証券	No.1 1,032,392	No.1 117,802	436,199
DMM.com証券	710,952	94,773	507,097
ヒロセ通商	320,438	31,108	199,976
ワイジェイFX	304,500	95,115	300,576
外為どっとコム	258,579	113,096	414,839
マネーパートナーズ	70,156	59,769	275,538
FXプライムbyGMO	68,723	15,032	168,449

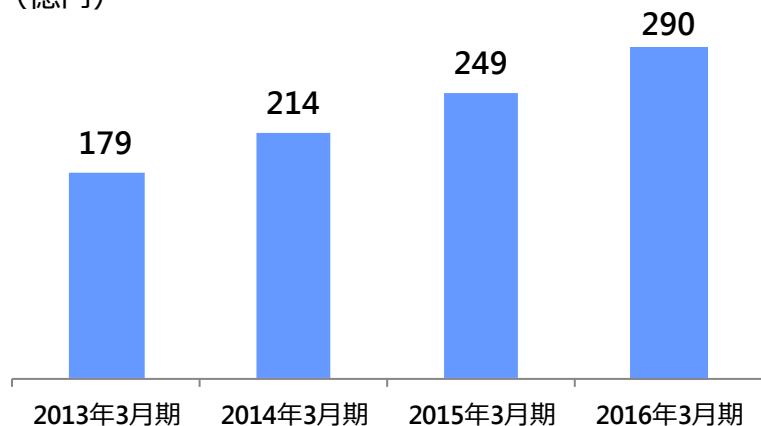
出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2016年3月）より当社作成

FX等の店頭デリバティブ取引が牽引し増収増益 収益各段階利益ともに**過去最高**を更新

(単位：億円)	2015年 3月期	2016年 3月期	前期比
営業収益	249.5	290.1	+ 16.3%
営業利益	77.4	106.1	+ 37.0%
経常利益	77.0	105.7	+ 37.1%
最終利益	48.5	64.5	+ 32.9%

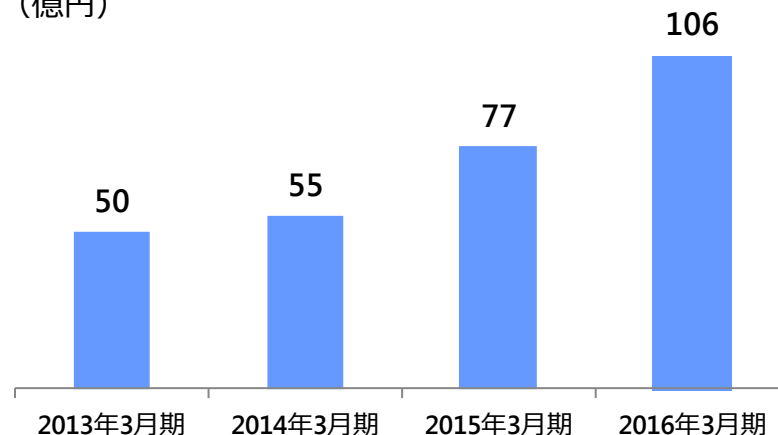
営業収益

(億円)



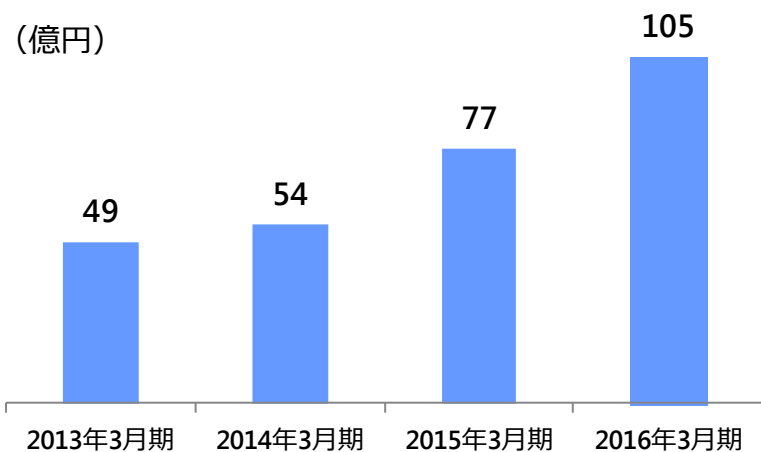
営業利益

(億円)



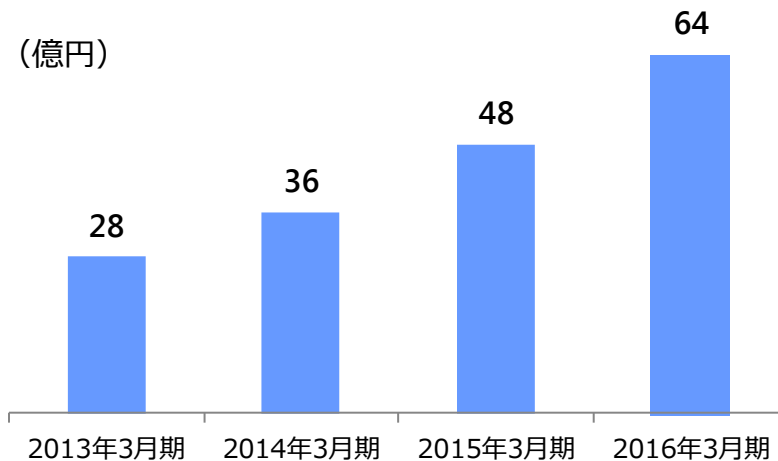
経常利益

(億円)



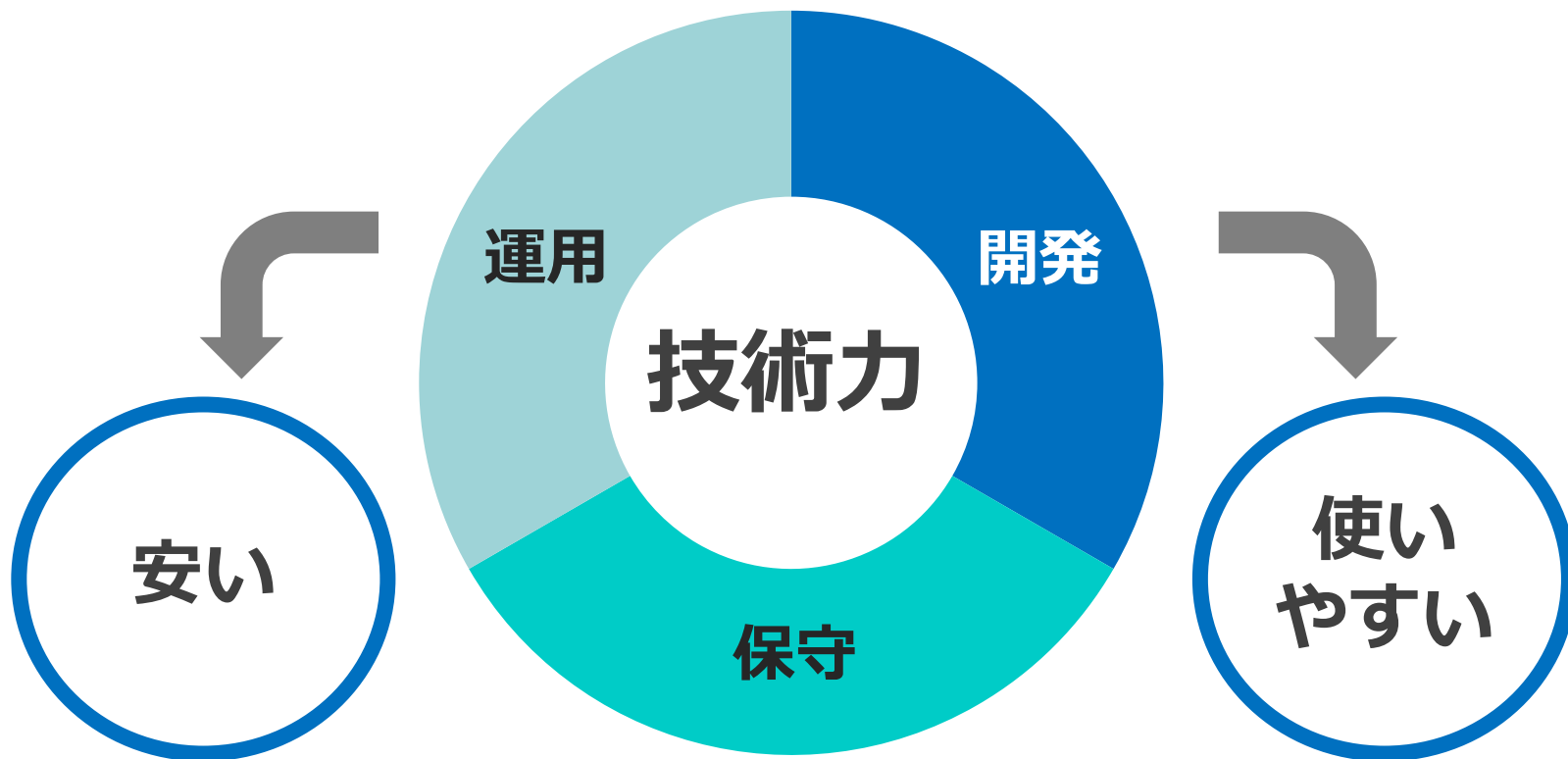
親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



1. 企業グループ概要
2. ビジネスモデル
- 3. 当社グループの強み**
4. 今後の展望と概況
5. 株主還元

自社グループで開発・保守・運用できる **技術力**が強みの源泉



自社グループ開発により、
システムコストを抑え、
安いコストでサービスを提供

お客様の声を反映した、
より利便性の高いツールを
スピーディに提供

GMOクリック証券の株式手数料は、業界最安値水準

現物 1約定ごと プラン	GMO クリック 証券	SBI証券 (スタンダード プラン)	楽天証券 (ワンショット コース)	カブドット コム証券 (インターネット)	マネックス 証券 (PC)	松井証券
10万円	88円	139円	139円	90円	100円	1約定ごと プランなし
20万円	98円	185円	185円	180円	180円	
50万円	241円	272円	341円	250円	450円	
100万円	436円	487円	609円	990円	(成行) 1,000円 (指値) 1,500円	
150万円	528円	582円	728円	1,440円	(成行注文) 約定金額の 0.1%	
3,000万円	834円	921円	1,152円	3,690円	(指値注文) 約定金額の 0.15%	
3,000万円超	889円	973円	1,217円	3,690円		

出所：各社ホームページより当社作成（2016年5月23日当社調べ）
※各社手数料は税抜表示

使いやすさを追求したリッチクライアント型取引ツール、 スマホアプリ等を自社グループで開発

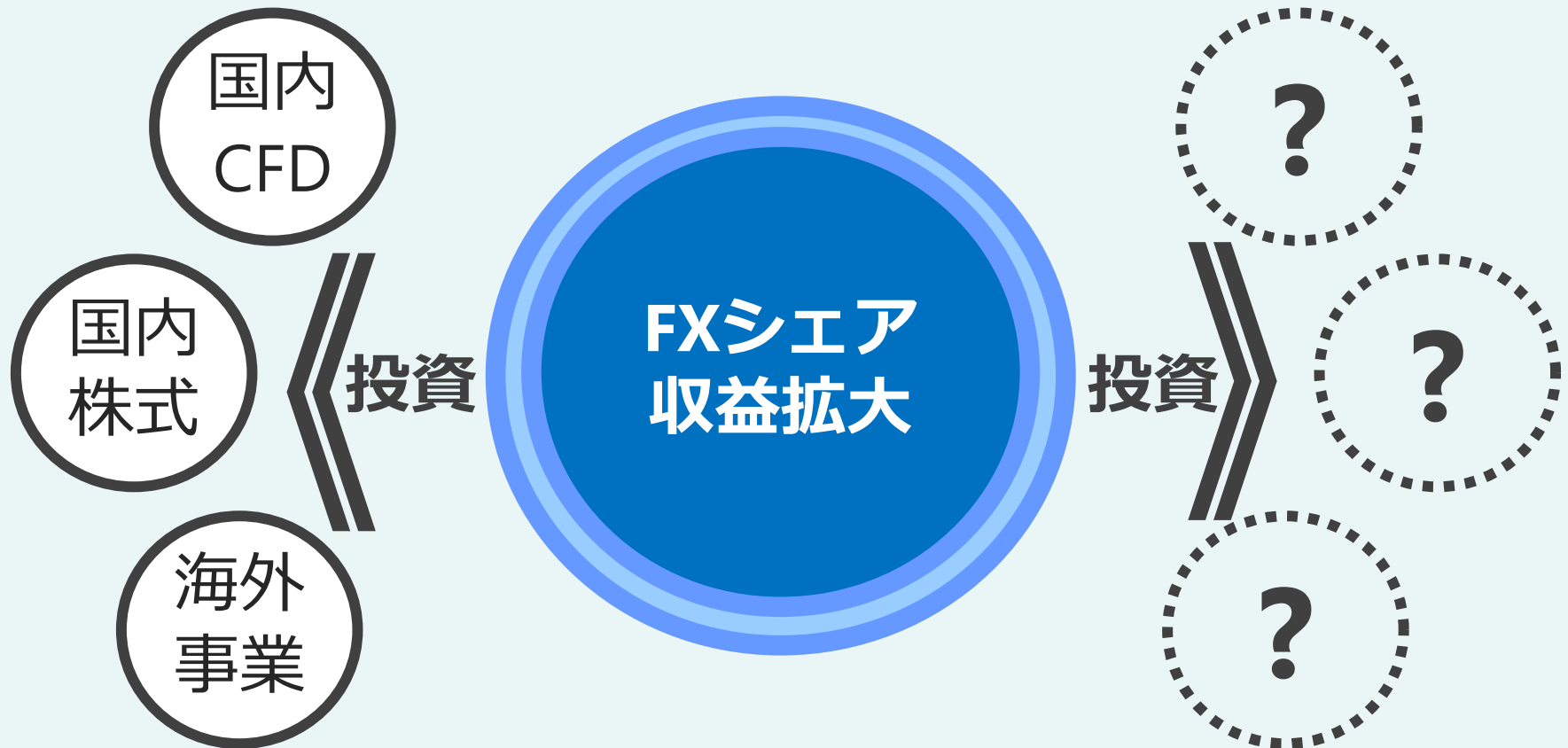


1. 企業グループ概要
2. ビジネスモデル
3. 当社グループの強み
- 4. 今後の展望と概況**
5. 株主還元

収益の柱であるFXをさらに強くし事業基盤を強化
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る

既存事業

新規事業



中長期目標

国内 事業

- ✓ **FX取引高シェア・収益の拡大**
- ✓ **CFDを新たな収益の柱に**
- ✓ **株式売買代金第3位の達成**

海外 事業

- ✓ **海外事業の黒字定着し攻めの体制**

新規 事業

- ✓ **新たな金融商品・事業の展開**

FXシェア拡大に向け、
世界最速を目指した**新FXシステムが始動**
顧客利便性向上、収益率向上を期待

約定スピード

従来の**6**倍

大口注文に対応

最大**500**万通貨単位
の発注が可能

4通貨ペア追加

NZD/USD EUR/GBP
EUR/AUD GBP/AUD

2016年2月8日

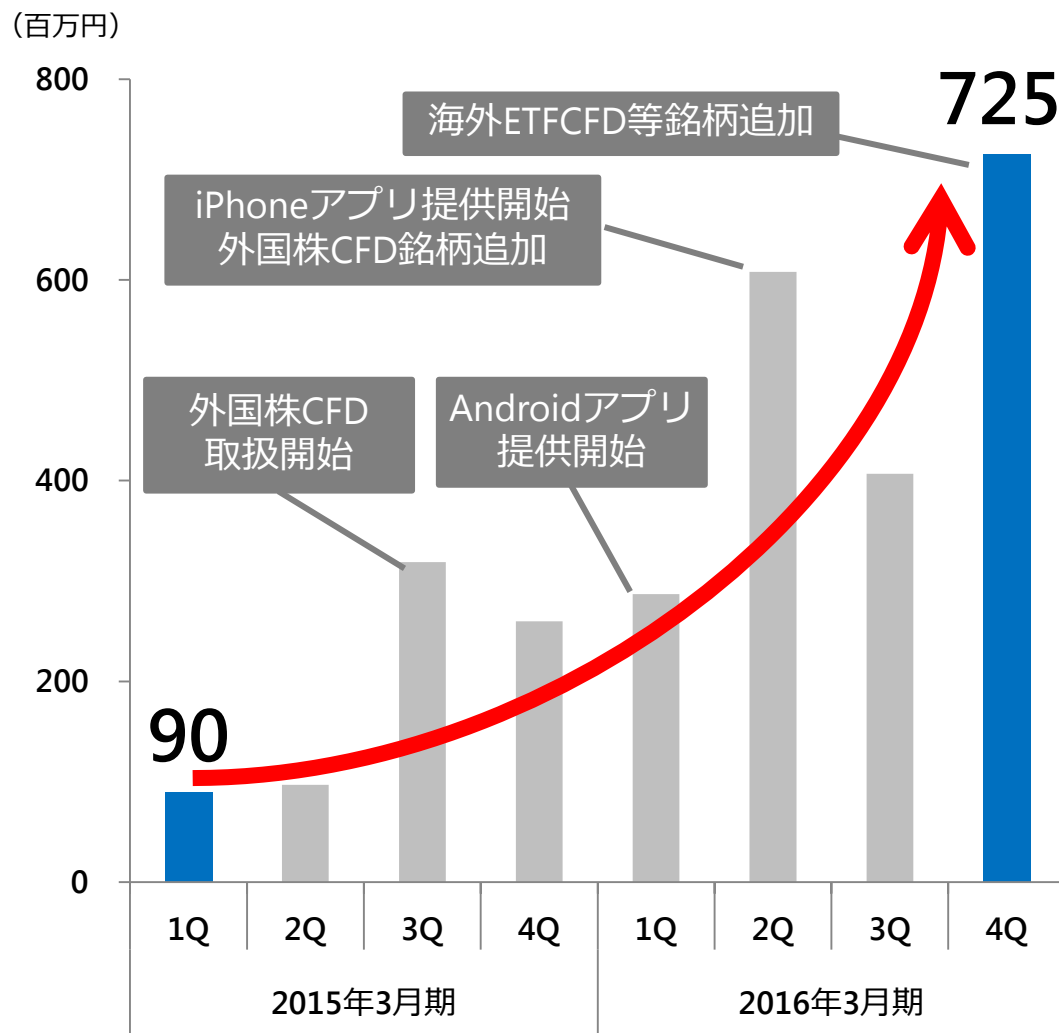
正式リリース

2016年2月26日

現行サービス終了

※約定スピードは当社開発環境での自社測定
※大口注文は通貨ペアによる

CFDは着実に成長



主要施策

- ✓ 外国株CFDの取扱開始
- ✓ CFD銘柄追加
- ✓ スマホアプリのリリース
- ✓ 取引ツール（PC・スマホ）の継続改善
- ✓ プロモーション強化
- ✓ クロスセル促進のためのキャンペーン実施

Androidアプリ

CFDroid



iPhoneアプリ

iClickCFD



※ AndroidはGoogle.Incの登録商標、iPhoneはApple Inc.の登録商標

証券サービスの拡充により
顧客基盤拡大を図る



未成年口座
ジュニア
NISA

投資信託

貸株
サービス



貸付型クラウドファンディング

ミドルリスク・ミドルリターンの
投資商品・サービス



お金のデザイン

MONEY DESIGN

ロボアドバイザー

業界最安値水準のコストで
グローバルな資産運用サービス



大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券

Daiwa Securities

- 株券貸借取引のノウハウ共有及び実施
- 大和証券動画コンテンツの提供
- Webマーケティングノウハウの共有

顧客獲得が課題。

Z.comブランドで、中国をメインターゲットに
時間をかけて顧客基盤拡大を目指す

海外展開は将来への投資



1. 企業グループ概要
2. ビジネスモデル
3. 当社グループの強み
4. 今後の展望と概況
5. **株主還元**

目標とする経営指標

自己資本当期純利益率 (ROE)

20%

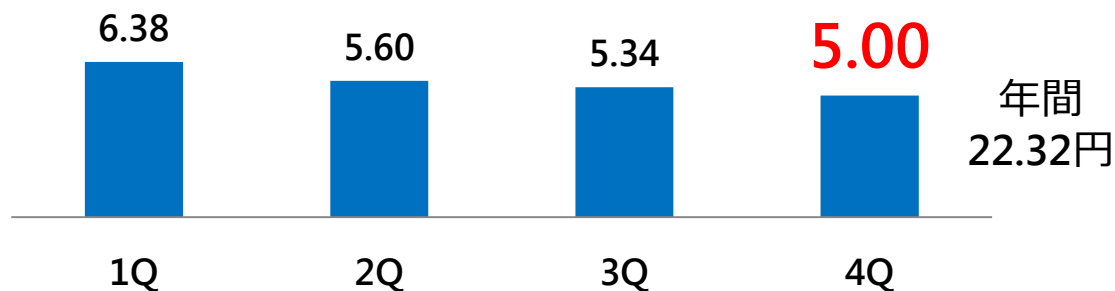
2016年3月期

29.3%

株主還元方針 (2016年3月期)

配当性向の目標 40% (年4回の配当)

2016年3月期1株当たり配当金推移 (円)



連結配当性向

40%

2017年3月期より、株主の皆様への利益還元を強化

連結配当性向

40%



連結配当性向

50%

株主優待の内容（2015年12月末日基準）

- 1. GMOクリック証券における売買手数料相当額
キャッシュバック（保有株数に応じ最大10,000円）**
 - 100株以上300株未満 : 最大3,000円
 - 300株以上500株未満 : 最大5,000円
 - 500株以上1,000株未満 : 最大7,000円
 - 1,000株以上 : 最大10,000円
- 2. GMOクリック証券におけるGMOクリックHD株式
買付手数料相当額キャッシュバック**
- 3. GMOクリック証券オリジナル食品プレゼント
（柚子味噌おでん）**

Appendix : 会社概要

会社名	GMOクリックホールディングス株式会社 (GMO CLICK Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	374百万円 (2016年3月末日現在)
連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライム by GMO GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国)
連結従業員数	218名 (2016年3月末日現在)

Appendix : 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	4月1日～翌3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL : 0120-232-711 (東京) / 0120-094-777 (大阪) 受付時間 : 土・日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
公告方法	電子公告 公告URL https://www.gmo-click.com/ ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

GMOクリックホールディングス

本資料には、2016年5月28日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。